

奈良・人と自然の会

事務所:

川井 (会長)



『 自然の中で 』

小山 直方

私は家の近くの山野辺の道を歩くのが好きで暇を見つけては出かけて行きます。歩く距離は、家の極近くの 2km位とほんの僅かの間ですが、私にとっては種々の植物があり面白いところです。この極、限られた範囲の中を見て歩き、分からない植物を調べたりしています。このあたりは全くの自然ではなく、古い事や詳しい事は知りませんが、人手が多く入っているようです。又図書館へ歩いて行く途中の奈良公園や民家の庭、社寺の境内の植木等も見歩きますが分からない樹木が多く家に帰って、図鑑を調べますが、なかなか分かりません。分かった時は「やった！」と言う気分になり楽しいものです。春夏秋冬の移り代わりが良く分かり、自然の営みを感じます。これから健康と知識を増やす為にせっせと歩き続けたいと思って居ります。



『 高取・山菜観察と試食会に参加して 』

長崎 ひとみ

菜の花にレンゲ、シロバナタンポポ、カラスノエンドウにウマノアシガタ。たくさんの春の花に迎えられ、飛鳥散策をスタートしました。“お昼ご飯調達指令”ヨモギにタンポポ、ミツバ、葛の新芽やネマガリ竹まで。川の流れの中青々としたクレソン発見！でも採集できず残念。みなさん観察よりも採集に熱心(失礼—)で「早く進まないとお昼ありつけないよ〜」との声。

今回のヒットはノビル。ごそごそと掘り出そうとしたのですが、土が固くてらっきょのような鱗茎が折れてうまくいきません。するとあちらこちらから秘密兵器登場「スコップ」これで楽に掘り出すことができ、嬉しくてたくさん採り袋からノビルの顔が出ていました。檢隈寺跡のひっそりした境内でかわいい野の花を見ながら、やすらぎ荘に到着し、今摘んできた野草を天ぷらにして頂き、カラッと揚がった山菜を堪能しました。お勧め品：スギナの葉先はサクとして香ばしくビールに最高！ノビルのお味噌汁、ハコベの白和えは絶品！！おいしくて何回もお代わりしました。準備・案内いただいた皆さんありがとうございました。

冬の間、眠っていた体がすっかり目覚めました。飛鳥のノビルがたくさん増えますよーに、と我が家のプランターに植えました。

蘇我馬子さんもきっとノビルが大好きだったのでしょうか？！！



竹は木か草か

樹木は茎の先端にある生長点が細胞分列を繰り返して大きくなるが、竹は先端のほか各節ごとに成長帯があって細胞分列を繰り返す。普通竹には約60の節があり、樹木の60倍のスピードで成長する。生長期間は3ヶ月ぐらいでそれ以後枯死するまで伸長も肥大もしない。竹には形成層がない茎の構造になっているため年輪がない。

竹はイネ科植物に属しているが、一般にイネ科植物は細長い葉と折れやすい茎からなる一年性の草。草の多くは一年草である。二年草は秋に発芽し、越年するが春に花が咲き枯死する。多年草は越年時地上部分がなくなる。樹木は地上部分が冬も存在する。

竹の特徴として、1、茎の細胞が木化する多年生植物である。2、通常地下茎による無性繁殖で樹木は通常有性繁殖である。3、茎に空洞があるが、樹木には空洞がない。4、休眠芽は地中にあるが、樹木の休眠芽は地上にある。5、外皮が滑らかであるが、樹木の樹皮は滑らかでない場合が多い等々である。竹は木か草か結論は出ない。はっきりしているのは竹は竹である。

筍狩りのプロに聞いた話

筍の生える地下茎は1～3年までの竹に限る、4年以上の竹は茎が黄色く変化しているのでわかる。筍の芽は地下茎の全ての節に一つづつついていて、筍は掘り取られれば取られる都度次々と順番に出てくる。

筍の皮いわゆる竹の皮は実は葉柄で皮の先の尖ったところが葉である。竹の成長帯は紫外線をうけると成長が止まる、竹の皮は節ごとに成長体を保護して成長が完成した時点で自ら脱落する。その点を利用し、筍の皮を取り成長をとめて竹の盆栽を作る。

通常、藪の周囲が照葉樹林になっているのは、紫外線を遮り良質の節間の長い竹を作るためである。

竹は花が咲くと藪全体が枯れるが、これは藪全体が地下茎でつながっているためで、藪全体が1本の植物である。

タケノコで知られているモウソウチクが日本に植えだしたのは約260年前の江戸時代である。ハチク、マダケなどは有用であるため古代から日本に自生していた。

竹の代表的な種類と見分け方

モウソウチク。節の線は1本、竹の皮に斑模様、各節の枝は中実、筍は1番早く生える。

ハチク。節の線は2本、竹の皮に斑模様無し、枝は中空でなく詰まっている、筍はモウソウの次ぎに生える。

マダケ。節の線は2本、竹の皮に斑模様あり、各節の枝は中空、筍は最も遅く生える。

『孟宗もう出ん、淡竹はや出た、真竹まだ出ん』と覚えるとよい。

竹の節から1本の枝を出すのがヤダケ、クマザサ、スズタケ。2本の枝を出すのがマダケ、ハチク、モウソウ、たくさんの枝を出すのがメダケ、シカクダケ等である。

筍は2～3年生の地下茎の全節についていて、一つ取られると次の節、また取られると、次の節と順番に出るようになっている。もし取らなければ出筍は1回で終り、次以降のものは「止まり筍」といって腐ってしまう。掘り取ると3月下旬から5月まで100日間も次々と出る。江戸時代はこのような子孫繁栄の摂理を知らず、「生類憐みの令」により筍の採取はご法度。人々は建築資材として有用な竹を筍として食べて終うのはもったいないと考えた。若い筍を2つ割にすると節が60～70あり、竹の皮は節ごとに1枚ずつついている。筍は最先端の生長点のほかに、各節の上に無数の生長点の集まった生長帯があって、この細胞が1秒間に9万個も分裂して増えていく、しかも節ごとに増えるので普通の樹木の60～70倍の早さで伸長する。筍がめでたいものの代表にされるのはこの急生長にある。雨後の筍といわれるように、条件がそろえば出筍後10日ほどは、1日に1、2メートルも伸びる。

筍の食用部分は成長すると程になるところと、節の中央部の隔壁部分、特にこの部分は維管束が遅れて形成されるので柔らかくおいしい。筍が小さい頃は縦に伸びる維管束とともに、横切る維管束がでかかっている。これは隔壁が離れないように丈夫にするためと、維管束によって、養水分が上下するためである。

竹の皮は1枚ずつ右前つぎは左前と交互につく、これは枝が節ごとに左右交互に出て、その節部生長帯を保護するために竹の皮があるからである。さて、筍が土から出て20日もすると節と節との間伸び、竹の皮は程の下部から落ちていき、1～2ヶ月もすると若竹は真っ青な程になる。竹の皮が落ちると、節に日が当たって節間の成長が止る。節間の長い竹を作るために、藪の周囲は常緑樹が植わり常に薄暗いのはそのためである。

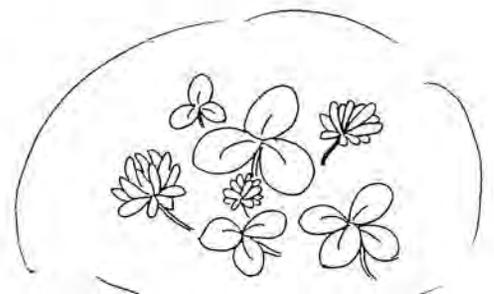
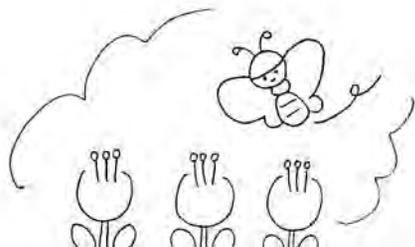
竹稈は真直ぐなものというイメージが強い、竹稈は成長するとき各節から枝が出るが、枝の芽の成長のために養分を取られバランスを崩し、枝の反対側が曲がる。これは竹だけでなく、あらゆる植物にみられる傾向である。

竹の花は何年目に咲くか

日本や中国では「60年」といわれ（十千十二支の最小公倍数）即ち「還暦」を意味し、欧米では「100年」即ち1世紀、ともに長い年月を表し、滅多に開花しないということである。

美味しい筍料理のコツは朝掘りを買うこと、前日ものはあくが強く、どのように料理しても味が落ちる。茹でる時は糠を使わず、竹の皮をつけたまま茹でると竹の皮に含まれる亜硫酸塩のために白くなりあくも抜ける。このとき筍1本に対して、唐辛子1～2本入れると味が締まる。茹で上がったら冷やし水を加えてもう一度茹でると、さらに美味。味噌あえ、田楽、てんぷら、木の実和えで季節感をだし、先端部はサラダ、和えもの、若竹汁、中央部は和えもの、基部は揚げ物、煮物に筍だけの単独の味でどうぞ。

筍の美味ベスト順位「デミョウコサンカラモソ」鹿児島地方の連語で、1、「デミョウ」ダイミョウチク、カンザンチクでメダケ属の1種。2、「コサン」五三竹、ホテイチク。3、「カラ」カラダケ、淡竹。4、「モソ」モウソウチク



新年度、あらたな気持ちで楽しい活動にみんなでしましょう！

5月総会のご連絡届きましたか、返信されましたでしょうか。

5月12日(日)の予定

10:00 近鉄奈良駅 行基像前

- ・ 奈良公園の巨木等観察

14:00 ならまちセンターにて総会

- ・ 活動報告と今後の活動計画
- ・ 会計報告
- ・ 次期役員選任

15:00

何でも話そう意見交換会

お茶菓子と共に1時間くらい。

例会では観察に忙しくあまりおしゃべりできていないようですので、この際気軽に話しませんか。

ご都合のほどよろしく願います。雨天決行です。

もちろん、午前のみ、午後のみ参加も歓迎です。



ハルゼミ

ルリセコ子
コサネ

ヒル? など



** 4月の活動から、ボランティア活動保険に会員全員加入しております。例会や活動の行き帰りの怪我や事故も保険の対象になります。**